

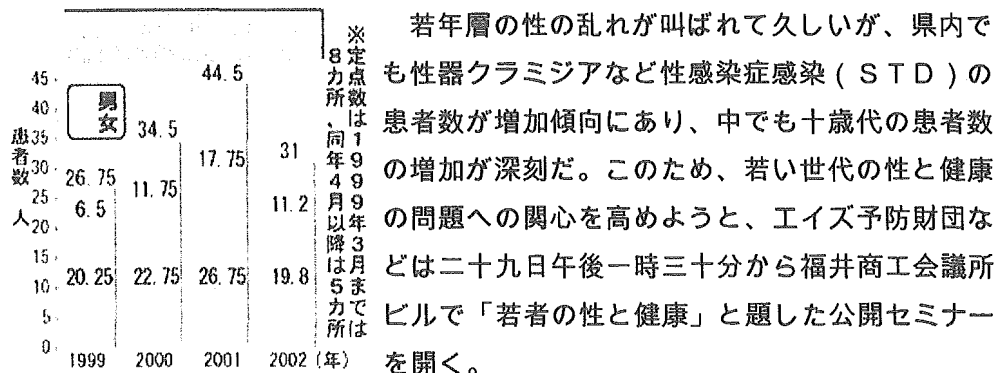
福井県民ニュース

福井

性感染症 若者に増加

10代深刻 理解深めて

福井商議所で29日セミナー



若年層の性の乱れが叫ばれて久しいが、県内でも性器クラミジアなど性感染症感染 (STD) の患者数が増加傾向にあり、中でも十歳代の患者数の増加が深刻だ。このため、若い世代の性と健康の問題への関心を高めようと、エイズ予防財団などは二十九日午後一時三十分から福井商工会議所ビルで「若者の性と健康」と題した公開セミナーを開く。

県が県内五カ所 (一九九九年一～三月は八カ所) の医療機関で実施している定点調査では、医療機関一カ所当たりの年間患者数は三十～四十人前後で推移しながら増加している。

中でも目立つのが十九歳以下の患者の割合で、二〇〇〇年までは10%前後だったのが、〇一年には約15%、〇二年には約20%と著しく増えており、患者の半分以上は女性。また、同調査では性器ヘルペスや淋病感染症などの患者数も増加傾向にある。

福井愛育病院の鈴木秀文産婦人科部長によると、統計に上がってくる患者数は「氷山の一角」。性感染症に感染すると、不妊症やエイズに感染する確率が

高くなるなど健康への影響は深刻だが、自覚症状がない場合がほとんどで、妊娠などで来院して初めてSTD感染が分かるケースが多いという。

セミナーでは、福井医科大学の小辻文和教授を座長に、鈴木部長ら四人が性感染症の動向などについて解説。続いて「今、エイズ / 性感染症の大流行を考える」と題したパネルディスカッションで講師陣が意見を交わす。問い合わせは、福井医大産婦人科学教室 = 電話0776(61)8392 = へ。

● [当日記事一覧](#)

ご質問・お問い合わせ - 著作権について - リンクについて
Copyright (C) 1995-2003, The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.
本ページ内に掲載の記事・写真などの一切の無断転載を禁じます

＜性感染症についてのアンケート集計＞ 福井(2003年3月29日実施、参加人数142人、アンケート回収90人)

○年齢 (人)

年齢	～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計
全体	39	8	8	8	26	90
医療関係者	2	3	4	1	5	15
その他の職業	35	5	2	7	18	68
NA	2	0	2	0	3	7

○性別 (人)

性別	39歳以下			40歳以上			合計
	男	女	NA	男	女	NA	
全体	14	49	0	63	18	26	90
医療関係者	2	8	0	10	2	5	15
その他の職業	11	38	0	49	13	18	68
NA	1	3	0	4	1	3	7

○職業

職業	39歳以下		40歳以上	
	人	人	人	人
医師	1			
看護婦・看護師	3		2	医療関係者
助産師	3		1	
保健師	1		1	
看護教員・看護学専攻大学生	1		0	
その他の医療関係者・従事者	1	10	0	
会社員	3		1	5
学生	38		3	
教員・教諭	6		0	
公務員	0		7	
業	0		3	
養護教諭	0		1	
主婦・家事手伝い	1		2	
その他(市会議員)	0		0	
無職	1	49	0	18
無回答	4		3	
計	63		26	

○既婚・未婚

	結婚している		していない		合計
	39歳以下	40歳以上	NA	合計	
全体	16	25	47	63	
医療関係者	4	5	6	10	
その他の職業	11	17	38	49	
NA	1	3	3	4	
全体	16	25	47	63	
医療関係者	5	5	0	10	
その他の職業	11	17	38	49	
NA	3	3	3	9	
全体	0	0	0	0	
医療関係者	0	0	0	0	
その他の職業	0	0	0	0	
NA	0	0	0	0	

＜性感染症についてのアンケート＞

性の健康医学財団では、性感染症が最近いろいろ問題を起こしておりますので、このようなパンフレットを作りました。そこで、皆様が性感染症についてどの程度知っておられたか、また性感染症についてのご意見を伺いたく、アンケート調査を行っております。これからの啓発活動に大変参考になりますので、是非ご記入いただきたく、ご協力の程お願い申し上げます。

＜ご年齢＞	才	＜性別＞	男	女	ご職業
＜結婚＞	している		していない		

<1> 知っている性感染症の名前に○をつけてください。

- a. 梅毒 b. 淋菌感染症 c. クラミジア感染症
d. 性器ヘルペス e. 尖形コンジローム f. トリコモナス

<2> 今までにかかった性感染症がありますか。かかったとしたら下記のどれですか。○をつけてください（2つ以上でも○をつけてください）。

- a. 梅毒 b. 淋菌感染症 c. クラミジア感染症
d. 性器ヘルペス e. 尖形コンジローム f. トリコモナス

<3> 性感染症について、次のことで正しいと思われるものに○をつけてください。

- a. 今流行している性感染症は、あまり症状が出ないものが多い。
b. エイズは性感染症である。
c. 上記の<1>に書いたような性感染症にかかっていると、エイズに3倍も4倍もかかりやすい。
d. 子宮頸癌も、性感染症であるヒト乳頭腫ウイルス感染と極めて深い関係がある。
e. クラミジア感染症が若い女性の間で大流行している。
f. クラミジア感染症には性生活をもっている人は誰がかかってもおかしくない。
g. クラミジア感染症になると不妊症や流・早産になりやすい。

<4> コンドームは何のために使いますか。

- a. 避妊のため b. 性感染症予防のため c. 両方のため

<5> コンドームの使い方。

- { a. 決まったパートナーの時は、 いつも 時々 使っていない
 b. 不特定のパートナーの時は、 いつも 時々 使っていない

<6> コンドームを使う場合、性交渉のどの時点から使ってますか。（書きにくいかも知れませんが、是非書いてください。）

- a. 始めから（口の時から） b. 始めから（性器接触から） c. 射精直前に

<7> ご意見があれば、是非お書きいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。

厚生科学研究：STD/HIVの情報分析研究班（班長 熊本悦明）

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

“性感染症としての HIV 感染” 予防のための市民啓発を、
各種情報メディアを通して具体的に実施実行する研究計画

平成 14 年度研究報告書

発行：平成 15 年 3 月

発行者：主任研究者 熊本 悦明

事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-14-10

（財）性の健康医学財団

TEL 03-3813-4098
